

橋下徹は激怒

突っ走れ！ ラグーマンらしく

① ドーンセンターの廃止

橋下新知事はドーンセンターへの補助金カットを提案した。当然である。大阪は目もくらむような兆円もの借金がある。「歳入の範囲でしか予算は組めない。」実に弁護士らしい簡潔明瞭な政策であり、当たり前のお話である。我々は「好き」とか「嫌い」とか言うような子供みだいな思いで政策を論じるのではなく、「必要」か「不必要」かの次元で物を考えなければならない。ドーンセンターは不要なものの横綱、象徴である。ピース大阪しかり。積年の過度の同和行政、同和言いなり行政が生み出した「クズバコ」の山。今ここで一掃しないとたいへんなことになる。

「ゆとり」教育の最先端都市だろうか、大阪の学力は全国45位。借金も全国トップクラス。我々は子や孫をさんざん甘やかし、力をつけることをせず借金だけを残すつもりか。全く逆であり、子供を厳しく教育し、力をつけてやり財産を残してやる。これが親のすべきことではないか。橋下知事のNHKへの対応を「大人気ない」と言う人もいる。貴職は若い。「大人気」なくて上等ではないか。「大人」がなし得なかった健全な大阪を建設していただきたい。

② 黒岩キャスターへの嚴重抗議

2月17日のフジ系列の「報道2008」において、黒岩キャスターは、貴職が「机上の空論」をどういった意味で用いたかを丁寧に説明しているにもかかわらず言葉尻を捕え執拗に揚げ足取りに終始し追求してきた。「橋下知事を何でもいいから何が何でも攻撃したい。」かつてここまでひどい「いびり」は公共放送で見たことがない。我々は速やかにフジTVに抗議をしたが、貴職への暴言冒瀆は、私への、我々への、大阪府民全員へのものである。

この番組は石原慎太郎知事や桜井よし子氏らが出演する良識的な番組であったのだが……。この狼藉に一步もひかなかつた貴職は誠に立派であり、大阪の長たるにふさわしい態度であった。付言するならば、机を蹴飛ばして帰ってきたら更に立派であったが「紳士」であったのが少々残念。

我々大阪府民は、子や孫たちの未来ため、貴職がラグーマンらしくゴールを目指して突っ走ることを願い、応援する。

大阪府民の公教育を考える会

【事務局】〒565-0874 大阪府吹田市古江台2-10-13 『MASUKI情報デスク』
TEL 090-3710-4815 / FAX06-6835-0974